

製品・サービス動向-国内

■NTT テクノクロス：ビジネスチャット
「TopicRoom」にオンラインビデオ会議機能
をオプションとして来年2月から提供

(10月6日)



TopicRoom ビジネスチャット機能利用イメージ

(NTT テクノクロス)

NTT テクノクロス株式会社 (<https://www.ntt-tx.co.jp/>) (東京都港区) は、NTT グループ認定のビジネス向けグループチャット「TopicRoom」において、オンラインビデオ会議機能をオプションとして2018年2月から提供する。

TopicRoom は、ルームと呼ばれる場でチームメンバーなどとチャットが行える国産のビジネスチャット。強固なセキュリティ機能を有した、機密情報などの情報漏えいなどを防ぐ NTT グループのクラウドセキュリティガイドラインに準拠した製品。管理者機能も含むほぼ全ての機能の API の公開により、チャットボットの作成、ユーザ環境の Active Directory フェデレーションサービスとの連携、オンプレミス提供といった特長がある。

今回、TopicRoom のビデオ会議機能は、4,500 社の導入実績（これまでの 16 年間）を誇る高品質な MeetingPlaza のビデオ会議機能で提供する。

チャット中にビデオ会議を行いたい場合は、画面上

の会議予約ボタンから簡単にルームメンバーへのビデオ会議開催情報が通知される仕組み。ビデオ会議を行うために新たにメンバーを検索したり、選択したり、あるいは会議の案内を行ったりする必要がなく、手軽にチャットからビデオ会議へと会話の場所を移動することができるようになっている。

なお、冒頭の NTT グループ認定とは、NTT グループの「ソリューション環境ラベル制度」に基づき評価・環境にやさしいと認定された製品を指す。TopicRoom も認定されている。

■NEC：外国語でコミュニケーションを支援する「多言語音声翻訳サービス」開始、ビデオ通話による通訳クラウドサービスとの組み合わせも可能

(10月2日)

日本電気株式会社 (<http://jpn.nec.com/>) (東京都港区) は、訪日外国人の接客が生じる空港やホテル、百貨店などに向け、外国語でコミュニケーションを支援する「多言語音声翻訳サービス」を11月1日より提供開始する。ビデオ通話による通訳クラウドサービスなどと組み合わせた導入も可能。



多言語音声翻訳サービスイメージ (NEC)

多言語音声翻訳サービスでは、タブレットやスマートフォンで利用可能なアプリ版の提供に加え、専用の業務用小型端末も用意した。これにより、接客カウンターや店舗レジにはタブレットを、利用エリアが広い接客現場では接客スタッフひとりひとりが小型端末を傾向するなど、さまざまな業務シーンに合わせたデバイスの利用が可能になっている。

また、商品名や施設名などサービス利用者固有の単語を追加で辞書登録に対応している。これにより利用現場に最適化した翻訳が可能。

加えて、会話内容や利用状況の見える化にも対応。クラウド基盤サービス「NEC Cloud IaaS」に利用データを蓄積し、会話内容や利用状況の把握が可能となっている。

また、通訳クラウドサービスや IP トランシーバにより一斉同報発信できる「スカイトランシーバ」など NEC の業務系サービスと組み合わせた導入も可能だ。

多言語音声翻訳サービスは月額 3,000 円/ID(販売開始 11 月 1 日)。また、業務用小型端末(販売開始: 2018 年 1 月予定)は 5 万円/台。別途キッティング費用、通信料月額 1,000 円/台がかかる(事務手数料別途)。辞書カスタマイズは個別見積(販売開始 11 月 1 日)となっている。

ビジネス動向-海外

■Vidyo 社：Allscripts 社が vidyo.io を採用、患者エンゲージメントポータル上で対面の遠隔診療機能を強化

(9 月 4 日)

Vidyo 社 (<https://japan.vidyo.com/>) (米国・ニュージャージー州) は、EHR (Electronic Health Record) テクノロジーのプロバイダーである Allscripts (オールスクリプツ、米国) が、Vidyo 社の企業向けリアルタイム映像通信 PaaS である「vidyo.io」を選択したと発

表。

Vidyo.io を活用することで、Allscripts 社は同社が提供する患者エンゲージメントポータル「FollowMyHealth」上で対面の遠隔診療機能を強化する。高品質なライブ映像による対面診療を 55 万人以上の医師が利用可能になるという。

Allscripts 社では、患者が能動的に関与できる充実したプラットフォームを提供することに絶えず力を注いできた。患者や家族が医師とのつながりを常に保つことができ、積極的に治療に関わることを可能にするためだ。Vidyo の統合ビデオコラボレーションプラットフォームは、Allscripts の FollowMyHealth 上のワークフローに組み込むことができ、ウェブやモバイルアプリを通じて、患者と医師とが簡単にフェイスツーフェイスでつながることを可能にする。

Vidyo はグローバルの医療市場で、数多くの採用実績があり、その数は年々増え続けている。米国の統合医療システム上位 100 社のうちの 40 社での採用実績がある。昨年では 50 社以上の医療プロバイダーが新規に追加され、米国における医療分野での顧客は 295 社になるなど急速に成長している。年間 5 千万人以上の患者が、Vidyo が組み込まれた遠隔医療プロバイダーによる医療サービスを利用しているという。

Vidyo は米国ニュージャージー州に本社を置き、約 300 名の従業員を擁するテクノロジー企業。北米・欧州・アジア各地ならびに東京に営業・サポート拠点を持つ。金融・医療・サービスプロバイダーなど世界 4,000 社以上の企業で採用されている。H.264SVC を世界で初めて商用化し、モバイル端末での HD ビデオ会議の実現、UHD (4K/5K) の高解像度技術の実装による高精度コンテンツへの対応、WebRTC 対応、米国防省 (DoD) などでも採用されている独自のセキュリティ技術など約 150 の特許技術をもつ。

■アバイア社：モバイルワーカーを想定したクラウド型ビデオ会議コラボレーションサービス「Avaya Equinox Meetings Online」刷新

(9月14日)

アバイア社(米国・カリフォルニア州)は、刷新したクラウド型ビデオ会議コラボレーションサービス「Avaya Equinox Meetings Online」(<https://www.avaya.com/en/product/avaya-equinox-meetings-online/>) (アバイア・イクイノックス・ミーティング・オンライン) をワールドワイド(約30か国)に提供開始と発表。

アバイア社のチームエンゲージメント技術に基づき開発されたAvaya Equinox Meetings Onlineは、サブスクリプションベースのサービスで最大50人まで対応したバーチャルミーティングルームを定額費用内で無制限に利用できるようになっている。

音声や映像の面では、ワイドバンドオーディオに、また映像は1080pに対応しつつも、インターネット接続に最適化された帯域制御を行う仕組みが搭載されている。加えて、暗号化されているため安心してビデオ会議が行えるとしている。会議開催においてはメールやカレンダー招待機能が提供されており、会議中の制御(ミュートなど)のほかコンテンツ共有、テキストチャットなども可能となっている。

他社製ビデオ会議システムとの相互接続も対応している。同社製「Avaya Scopia」はもちろんのことシステムとも問題なくビデオ会議が行えるとしている。

Avaya社によると、Avaya Equinox Meetings Onlineサービスはとくにモバイルワーカーを想定しているとしている。外出先(on the go)でも、生産性の向上につながる質の高い会議が行える。外出先からビデオ会議を行う際の、モバイルデバイス、ネットワーク、セキュリティなどの課題に対処した点が特長だ。

■TrueConf社：Aver社とインターオペラビリティ・パートナーシップを締結

(9月25日)

TrueConf社(<https://trueconf.com/>) (ロシア・モスクワ)とAver社(<http://www.aver.com/default.aspx>) (台湾・新北市)は、インターオペラビリティ・パートナーシップを締結したと発表。

両者はこれに先立ち共同でAver社側からテレビ会議システム「EVC150」と会議室向けVCS520ミーティングカメラを使用しTrueConf社のシステムと接続検証を実施し必要な改善を施した上で、SIP/H.323環境でお互いのシステムのフルの相互接続性を実現したとしている。そのひとつに両社のシステムはH.239/BFCPコンテンツ共有も可能になった。

Aver社によると、今回のパートナーシップはハードウェアとソフトウェアの垣根を取り払うことにつながるとし、両社の協力によって、ハードウェアとソフトウェアそれぞれの良い点を組み合わせたハイブリッドなテレビ会議システムの開発も可能になるという。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USBスピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index

■株式会社ブライトコンパス

まだまだ使える綺麗な中古のテレビ会議システムが格安で手に入ります。

中古テレビ会議.com

<http://chuko-tv-kaigi.com/?=cnar10152>

セミナー・展示会情報

<国内>

■バイキューブセミナー情報（10月～11月）

「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「“従来比1/3のコストで導入できる”V-CUBE Box 体験セミナー」、「FIT2017（金融国際情報技術展）」「あしたのチーム様・バイキューブ共催」など
会場（東京・大阪）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■これから始める働き方改革セミナー in 名古屋～IT導入をより先進的に活用し、ビジネスをより加速させる～

日時：10月17日（火）14:30～17:10（受付開始：14:00）

会場：東京第一ホテル錦 ドルチェ（名古屋市中区）

主催：ユニアデックス株式会社

共催：シスコシステムズ合同会社、

スカイハイネットワークスジャパン合同会社

詳細・申込：

http://www.uniadex.co.jp/event/2017/20171017_workstyle.html

■成功事例から学ぶ 働き方改革実践セミナー

～必要な「制度」「ツール」「意識」とは？～

日時：10月20日（金）15:00～17:00

会場：富士ソフトアキバプラザ

主催：富士ソフト株式会社

協賛：キヤノンITソリューションズ株式会社

詳細・申込：<https://reg.morenote.jp/public/application/add/36>

■ヴィジュアルコミュニケーションセミナー第4回

「スマートグラスクラウド」～無料体験セミナー～

日時：10月20日（金）15:30～17:00（受付：15:00）

会場：エヌ・ティ・ティ・ビズリンク（東京都文京区）

主催：エヌ・ティ・ティ・ビズリンク株式会社

詳細・申込：<https://www.vcd.nttbiz.com/news/seminar04.html>

■【必見！】宅地建物取引業法に関する第一人者による特別セミナー！ IT重説特別セミナー

日時：10月26日（木）13:30～ ※1時間程度を予定。

会場：コクヨホール（多目的ホール）（東京都港区）

主催：いい生活株式会社

詳細・申込：<https://www.es-service.net/cat-topics/20170929.html>

※IT重説について解説。Web会議システム（MeetingPlaza）を使った活用事例も。

■VidyoJapan 金融機関向けセミナー：非対面チャネル強化の切り札！ 業務効率化とCS向上を実現するビデオバンキングサービス

日時：10月26日（木）12:00～13:00

会場：東京国際フォーラム ガラス棟 G510

主催：日本金融通信社 FIT2017（金融国際情報技術展）

詳細・申込：<https://japan.vidyo.com/event171026/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年10月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp